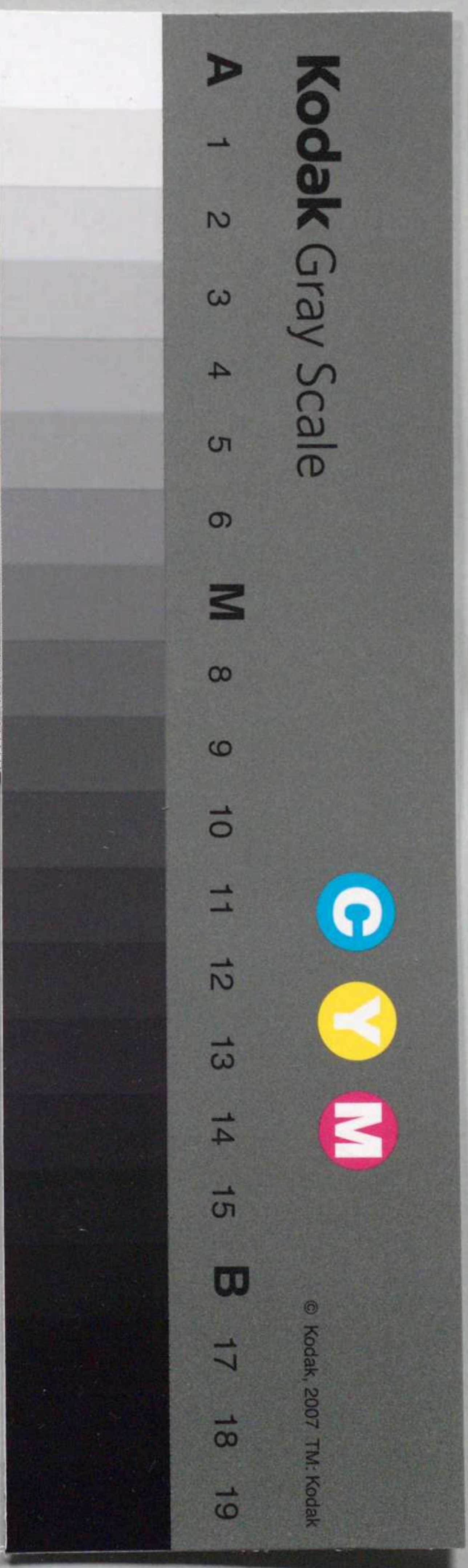
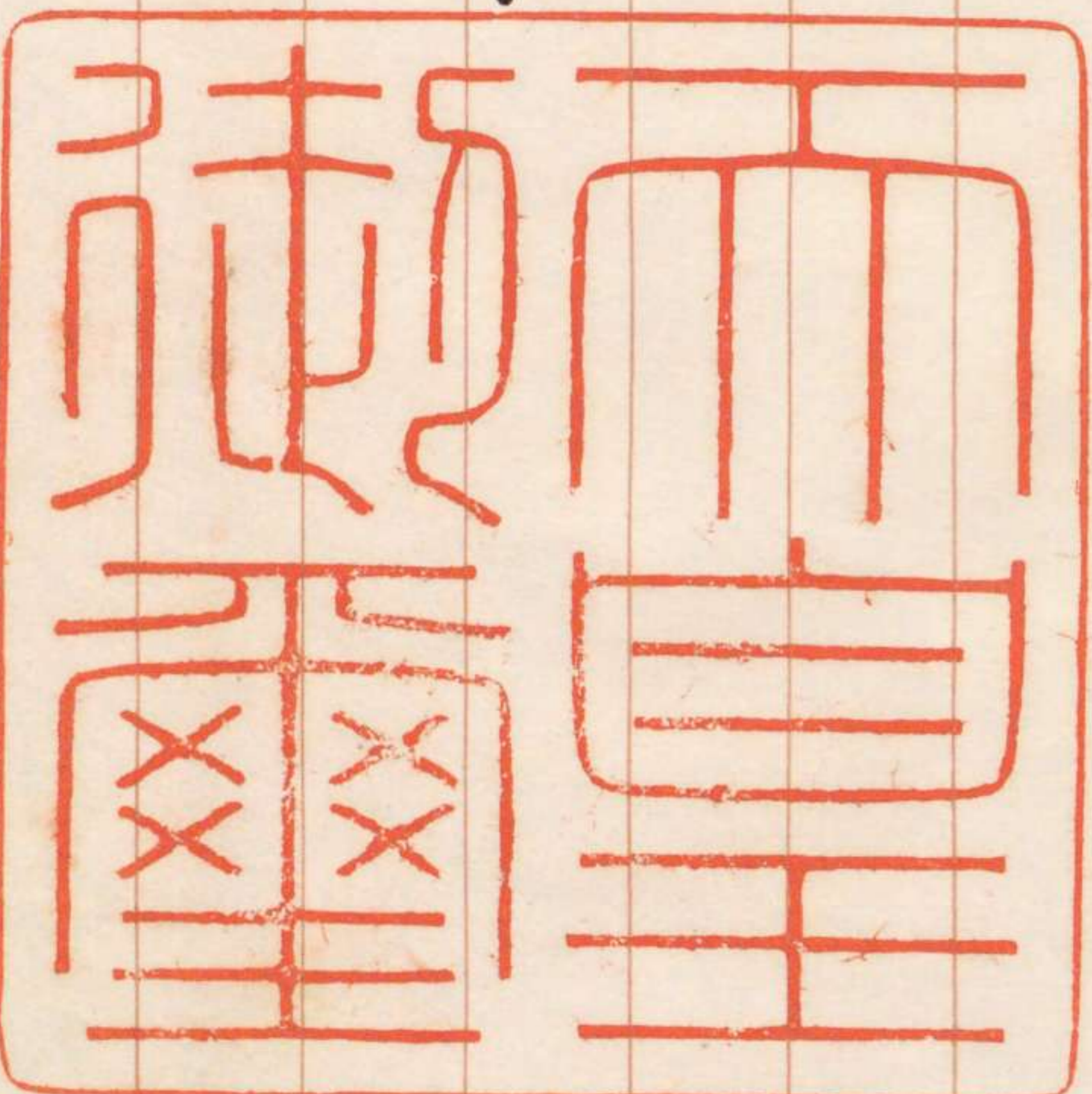


勅令号外



联帝國ト暹羅國トノ間ニ締結シタル修  
好通商ニ關スル宣言ヲ批准シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

睦  
仁





明治二十一年一月二十七日

内閣總理大臣兼外務大臣高島尚書伊藤博文

日本皇帝陛下及暹羅皇帝陛下ハ嘗テ兩國間ニ存在セシ友誼親睦ノ關係ヲ再起シ且ツ將來締結スヘキ條約ノ基礎ヲ定メニコトヲ欲シ日本皇帝陛下ハ外務次官從三位勳二等孛漏西赤鷲大綬章孛漏西王冠大綬章和蘭ライイオニ大綬章子爵青木周藏ヲ全權委員ニ命シ暹羅皇帝陛下ハ外務大臣ゼモーストセークレツド エニド エニシエント オルドル オフゼ ナインゼムス 及 ゼモースト イラストリヤス オルドル オフゼ ハウス



オア チヤクルクリイ、ハナイトチユラチヨムクラオ  
大綬章ホワイトエレファント 大綬章暹羅王  
冠大綬章デヴァウオングセ 親王ヲ其全權委  
員ニ命シ双方互ニ其委任状ヲ示シ其正  
實適當ナルヲ確認シ左ノ宣言ヲ為スコ  
トニ議定セリ

宣言

此宣言批准ノ日ヨリ以後兩締約國間并ニ  
其臣民間ニ永遠無窮ノ平和親睦アルベ  
シ

兩締約國ハ互ニ其朝廷ニ外交官ヲ派遣  
シ又最惠國領事ノ駐在シ得ヘキ各海港  
市府ニ總領事領事若クハ領事事務官ヲ  
置クノ權利ヲ承認ス

兩締約國ハ可成的兩國間并其臣民間ノ  
通商及航海ヲ獎勵シ且之ニ便宜ヲ得セ  
シムルコトヲ約ス

完全ナル條約締結ニ至ル前ニ兩締約國  
ノ一方ノ臣民通商又ハ他ノ正當ナル目  
的ヲ以テ他ノ一方ノ領地ニシテ最惠國



ノ臣民ニ通商ヲ許ス場所ニ來ル時ハ身體財産ノ保護及公平無私ノ待遇ヲ受ク  
ハシ  
前陳ノ事件ニ關スル詳細ノ事項ハ兩國  
間將來ノ條約ヲ以テ之ヲ規定スヘシ  
此宣言ハ成ル可ク速ニ遅クモ調印ノ日  
ヨリ四ヶ月以内ニ批准シ東京ニ於テ其  
批准書ヲ交換スヘシ  
右證據トシテ双方ノ全權委員ハ此宣言  
書記名調印スル者也

明治二十年  
二年アサエジ  
千二百四十九旬九  
七年九月二十六日

六日即チ陰曆ク  
月九日暹羅曆紀元

西曆千八百八十

青  
周  
歲

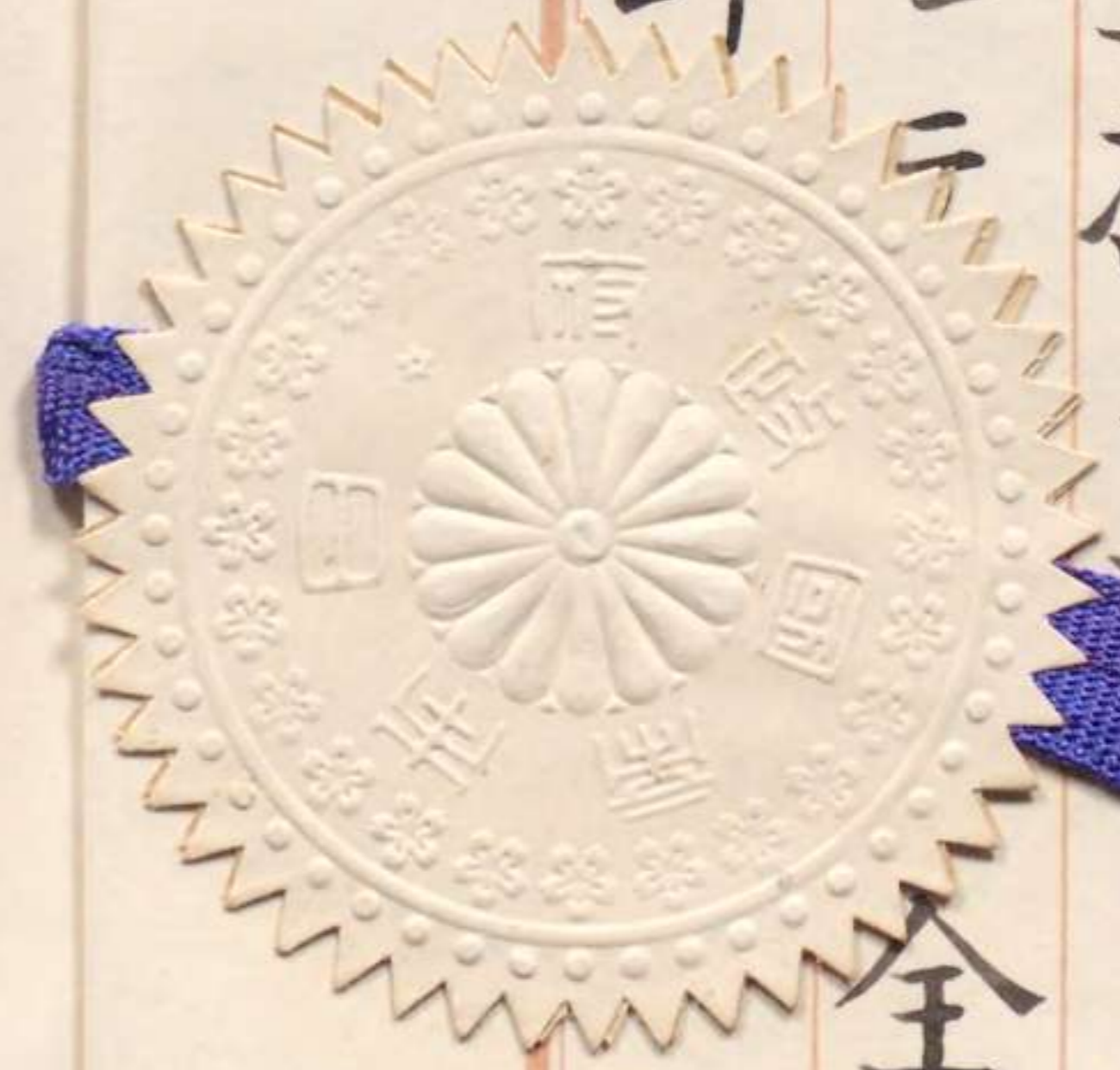
デヴ  
オニグセ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝  
踐ミタル日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス  
帝國及暹羅國ノ間ニ嘗テ存在セシ友誼



ノ臣民ニ通商ヲ許ス場所ニ來ル時ハ身體財産ノ保護及公平無ノ待遇ヲ受クハシ

前陳ノ事件ニ關スル細ノ事項ハ兩國間將來ノ條約ヲ以テヲ規定スヘシ此宣言ハ成ル可クモニ遅クモ調印ノ日ヨリ四ヶ月以内ニ准シ東京ニ於テ其批准書ヲ交換スヘシ右證據トシテ全權委員ハ此宣言書記名調印



明治二十年九月二十六日即チ陰曆クニ年アサエジママス月九日暹羅曆紀元千二百四十九旬九日西曆千八百八十七年九月二十六日

青木周藏

デヴァアウオングセ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス帝國及暹羅國ノ間ニ嘗テ存在セシ友誼

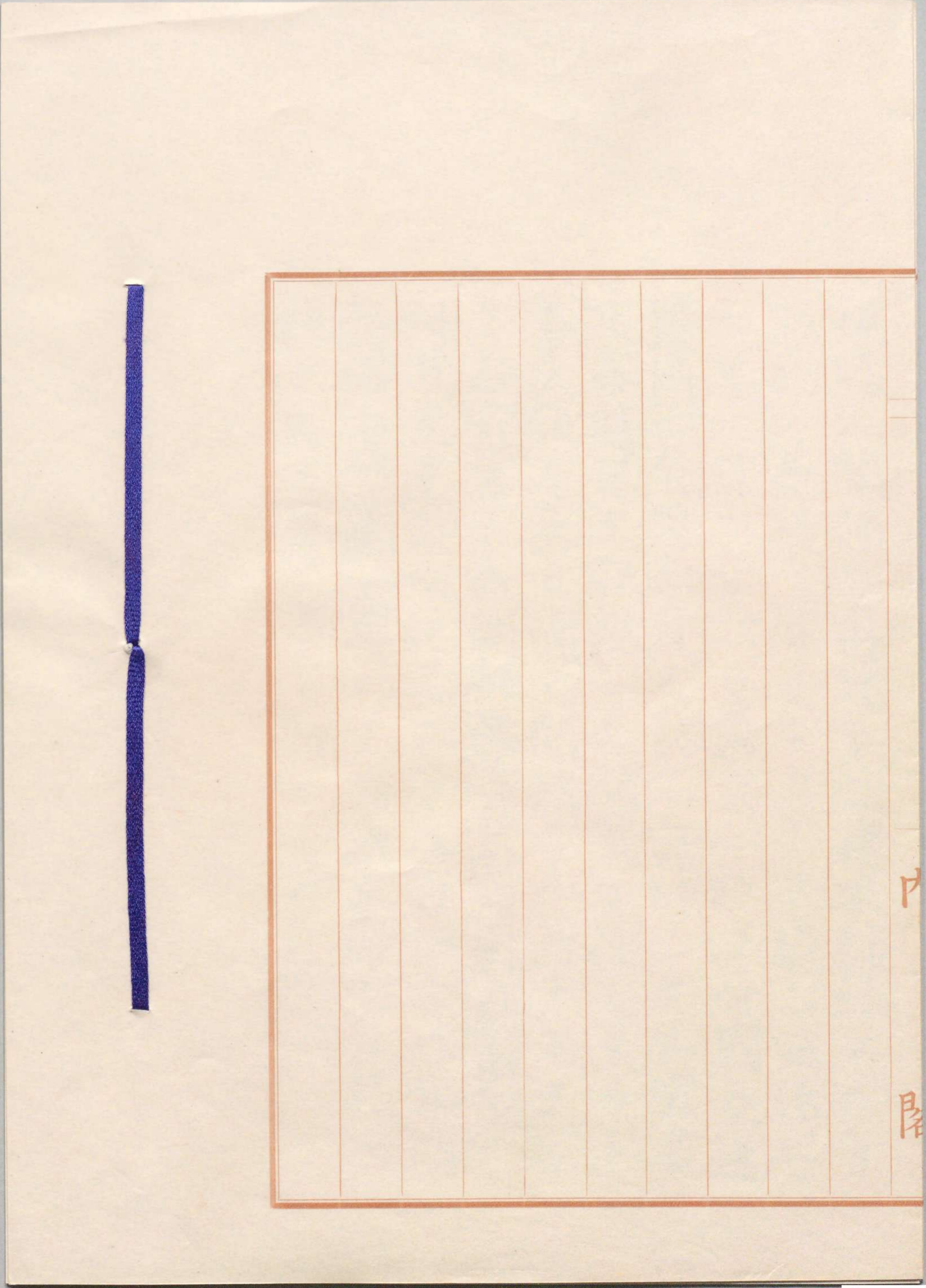


親睦ノ關係ヲ再起シ且ツ將來締結スヘキ  
條約ノ基礎ヲ定メニコトヲ欲シ明治二  
十年九月二十六日東京ニ於テ帝國及暹  
羅國兩全權委員ノ記名調印シタル宣言  
文各條目ヲ朕親シク閲覽點檢シタルニ  
善ク朕カ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以  
テ右宣言ヲ嘉納批准ス  
神武天皇即位紀元二千五百四十八年明  
治二十一年一月二十日東京帝宮ニ於テ  
親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣伯爵伊藤博文





内

陽